

## 趣旨

水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少や施設・管路の老朽化等に伴い、急速に厳しさを増してきている。さらに、熟練職員の大量退職による技術力の低下や人材不足、頻発する大規模災害への対応などの深刻な課題に直面している。こうした中、水道事業者は、住民生活に必要な不可欠なライフラインとして水道事業の持続可能な経営を確保していく必要がある。

長野市、上田市、千曲市及び坂城町（以下「関係市町」という。）の地域では、歴史的な経過から各行政区域の一部又は全部の水道事業を長野県企業局が担っており、関係市町及び長野県企業局（以下「関係団体」という。）は、県内の他地域に先駆けて、将来の広域化・広域連携を見据え、関係市町の地域にふさわしい水道事業のあり方について検討を重ねてきた。

こうした経過から、関係団体は、令和3年度に新たに上田長野地域水道事業広域化研究会（以下「研究会」という。）を組織し、関係市町の地域の水道事業の広域化について研究を開始した。

この検討経過報告は、これまでの関係団体での取組や研究会での研究成果、今後の検討の方向性を中間的に整理するものである。

## 【参考】水道事業の現状と課題

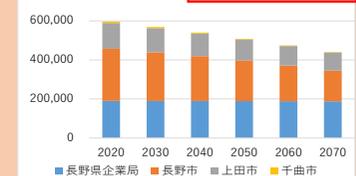
- 水道事業収入の約9割を占める水道料金収入は、本格的な人口減少時代の到来とともに、節水機器の普及や使用水量の減少等の影響により減少傾向にあり、今後50年間における関係市町の給水人口や、有収水量は、ともに大幅な減少が見込まれている。
- 高度経済成長期に建設した水道施設が耐用年数に達し、今後、施設更新・耐震化が急務となっており、それら事業の実施に必要な資金の確保がより困難になる。
- 水道事業に携わる職員は、ピークと比べて約3割減少しており、行政部局よりも大きな減少となっており、特に小規模町村では職員数が著しく少ない。少子化に伴う生産年齢人口の減少により、今後、関係団体においても、より確保が難しくなると見込まれる。

### ○水道料金の大幅な値上げ

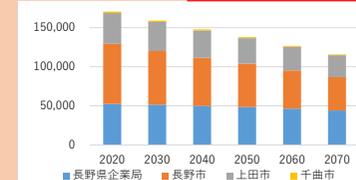
- 専門人材の不足による技術力の低下
- 大規模災害等への対応力の低下

関係団体の給水区域の将来推計（2020年→2070年）

<給水人口> **26.1%減少**



<有収水量> **32.2%減少**



安全・安心な水道水を安定供給する持続可能な水道事業運営を目指すため水道事業の基盤強化を図る必要があり、

**水道事業の広域化は、基盤強化に有効な手段の一つ**

※改正水道法により、次の文言が追加  
「水道の基盤の強化」  
「水道事業者等との連携等の推進」

※これらの課題は全国共通であり、国（総務省・厚生労働省）も水道広域化の取組を推進・支援しています。

## 上田長野地域水道事業広域化に関するシンポジウム概要

- 1 日時 令和3年11月17日(水) 13時30分から16時30分(開場:12時30分)
- 2 会場 長野市芸術館 メインホール
- 3 主催 上田長野地域水道事業広域化研究会(構成団体:長野県、長野市、上田市、千曲市、坂城町)
- 4 対象者 長野県、長野市、上田市、千曲市及び坂城町の議会議員、市町村職員及び水道事業関係者ほか
- 5 主な内容
- (1) 講演
    - 厚生労働省医療・生活衛生局 水道課長 名倉 良雄 氏
    - 総務省自治財政局 公営企業経営室長 小野寺 則博 氏
  - (2) 基調講演
    - 東洋大学大学院経営学研究科客員教授(東洋大学名誉教授) 石井 晴夫 氏
  - (3) 経過報告
    - 上田長野地域水道事業広域化研究会における検討経過報告について
  - (4) パネルディスカッション

### ○マイクロバス

【集合場所】千曲市役所 庁舎南側駐車場 【集合時間】午後12時20分 【出発時間】午後12時30分

○自家用車 ※駐車券をメインホール受付にお持ちください。

## 上田長野地域の水道施設視察の実施概要

1 期日 令和3年11月19日(金) (マイクロバス)  
 集合場所:千曲市役所 庁舎南側駐車場  
 集合時間:午前8時50分  
 出発時間:午前9時00分

2 視察施設 水道施設(浄水場) 4箇所

- ①長野県営水道 諏訪形浄水場
- ②上田市営水道 染屋浄水場
- ③長野市営水道 犀川浄水場
- ④長野県営水道 四ツ屋浄水場

3 行程

- 千曲市役所 → ①諏訪形浄水場 →  
 9:00発 9:50~10:20
- ②染屋浄水場 → 千曲市役所(昼食) →  
 10:35~11:05 12:00~13:00
- ③犀川浄水場 → ④四ツ屋浄水場 →  
 13:35~14:05 14:15~14:55
- 千曲市役所  
 15:25着